Version 1.1(1/20/2021)

JCI レース・トゥ・ゼロサークル

中期目標要件

要件１：スコープとバウンダリ

すべての主体は、該当する温室効果ガスすべてについて、組織・主体全体のスコープ１とスコープ２に相当する排出量を目標の対象とする必要があります。組織構成員・従業員等が 500 名以上である組織・団体は、スコープ３の概算を行い、スコープ３がスコープ 1+2+3 の合計の 40%を超える場合、スコープ３についてその 2/3 以上をカバーする目標を設定する必要があります。全組織・主体のスコープ１・２については、バウンダリから 5%を上限として、インベントリや目標の対象から除外することができます。

要件２：JCI 最低要件についての基準年・目標年・目標水準

最低要件としては、スコープ１・２については合算にて最新のインベントリ年から 2030 年までに直線で年率 2.5(10 年で 25%削減)%での総量削減を約束します。スコープ３については、要件１にて対象となった主体については、最新のインベントリ年から 2030 年までに直線で年率 1.23%(10 年で 12.3%削減)での総量削減を約束します。最新のインベントリ年は、提出年より２年前以降である必要があります。最低要件にて誓約した企業についても、SBTi による正式な目標の審査と認定を受けることを推奨します。排出量や削減について、クレジットを考慮することはできません。

要件３：JCI 審査についての基準年・目標年・目標水準

基準年については企業が任意に決めることができますが、最新年であることを推奨します。目標年は審査のために目標を提出した年を含めて 5〜15 年先の間である必要があります。スコープ１・２については合算にて最新のインベントリ年から 2030 年までに直線で年率 2.5(10 年で 25%削減)%以上での総量削減を約束します。スコープ３については、要件１にて対象となった主体については、最新のインベントリ年から 2030 年までに直線で年率 1.23%以上(10 年で 12.3%削減)での総量削減を約束します。JCI 審査にて中間目標の認定を受けた企業についても、SBTi による目標の審査と認定を受けることを推奨します。排出量や削減について、クレジットを考慮することはできません。

要件 4：年に 1 回の報告

組織は JCI に対し、毎年 8 月末を目安とした JCI が設定した期日までに、JCI が指定した内容について報告する必要があります。報告は、CDP を通じて行うことも可能であり、推奨します。